

## Kanjiru (Art) 展覧会 島田真平 ガラス作品展



アートギャラリーのようでギャラリーではない —  
“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」)  
による Kanjiru (Art) 展覧会のご案内となります。

### 島田真平 ガラス作品展

会期：2020年10月10日(土)～10月18日(日)

時間：13:00～18:30(最終日は16:00閉廊)

休廊：10月14日(水)

在廊：在廊につきましてはSNSなどのご案内いたします

作品：約150点

沖縄の、あるリゾートで出されたウェルカムドリンク。緩やかに広がるガラスの反りと、いただきながら見えてくる底の美しい色。沖縄の海と風がつくる非日常のなか、新たな世界に魅せられました。

島田真平氏。のちに知る事となったガラスの作者です。  
作品の多くは、際立つ色とその鮮やかさだけでなく、色それぞれに現れる気品に魅了されます。

日常の彩りとなる器はもちろん、オブジェや掛け物など、多彩なアイテムをBIOMEにてご案内させていただきます。

アーティストのご紹介：

島田真平 (Shinpei Shimada)

- |          |  |
|----------|--|
| 1975年    | 熊本市生まれ   |
| 1996年    | 琉球ガラス作家佐久間正二氏のもとガラス制作を始める                                      |
| 1998年    | 富山ガラス造形研究所にてブライアン・パイク氏に師事                                      |
| 2000年    | MC GLASS LAB 講師(東京) / Pilchuck Glass School リチャードロイヤルクラス受講(米国) |
| 2001～07年 | 雲仙ビードル美術館にて制作  |
| 2007～13年 | 島田美術館 ガラス研究棟にて制作   |
| 2014年～   | SHINPEI SHIMADA GLASS WORKSにて制作開始                              |

### みどころ

柔らかく、熟されたオレンジ色。  
武道の型を思わせる所作。重力と遠心力を操り、溶けるガラスを変化させ、かたち創られます。

必然的に生まれる法則があると、島田真平氏。  
ひとつひとつの工程をテンポよく仕上げる、その所作と結果に、心地よさを感じ、魅せられ続けて25年余。

スタンドグラスの要領で作られた模様のあるガラスは、様々な角度から見て、楽しむことができます。  
吹き技法だけでは生まれない作品もあります。  
これまでに吸収してきたもの、積み重ねてきたもの、そして島田氏の感性が溶け込んだ色彩は、上品であり、大胆。

季節を問わず楽しめる“SHINPEI SHIMADA GLASS”とともに、皆様のお越しをお待ちしております。

別紙

2020年9月吉日

Kanjiru (Art) 展覧会

島田真平 ガラス作品展



BIOME  
KOBÉ, JAPAN

2020年10月10日(土)～10月18日(日) / 13:00～18:30 (最終日は16:00閉廊)

\*10月14日(水)は休廊



photo by Shimosoyama

リフレクターロックグラス 島田真平作

本件に関するお問い合わせ ▶▶▶

BIOME  
(バイオーム)

〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-7-15 グローリー山手ビル 101  
tel : 090-3945-2040 email : artroom@biome-kobe.com